

お知らせ

秋の拡大月間が9月、10月で取り組まれています。組合に未加入の方がいたら、ぜひご紹介をお願いします。

朝志和

発行所

埼玉土建一般労働組合朝志和支部
〒351-0007 朝霞市岡3-24-37
TEL048-462-1303 FAX048-463-7059
《発行人》朝志和支部教育宣伝部
第232号 定価30円
(機関紙代は組合費に含まれています)
MAIL asashiwa@saitama-doken.or.jp

秋の拡大月間

86人が参加

中間決起バスハイク



リンゴ狩りを楽しむ和光南分会の仲間＝松井農園にて

リンゴ狩りと軽井沢散策 満喫した秋の一日

9月29日(日)「秋の拡大月間中間決起バスハイク」が開催され、全体で86人が参加しました。バスは7時半に志木・朝霞・和光の地域からそれぞれ出発し高坂サービスエリアで合流しました。休憩後、長野県小諸市にある「松井農園」を目指し、バスは向かいました。松井農園に到着すると参加者全員で集合写真を撮り、リンゴ狩り会場へと山を登っていきまし

交流会となりました。名雪副支部長の司会で始まり、丸山支部長あいさつでは「コロナ禍もありましたが、支部全体で取り組むバスハイクは6年ぶりです。この中間決起バスハイクまでに何として50パーセントの節目目標突破という目標を掲げ、見事50パーセントは突破しました。10月の打上式までに124人の目標達成に向け頑張りましょう。皆さんの協力無しには達成できません」とあいさつがあり、名雪副支部長の乾杯で昼食交流が始まりました。

全分会が目標達成を追求

バスハイク参加者の皆さんお疲れ様です。今年から組織部長となった峯村です。今年も次世代層との繋がりを図るため、統一行動日に「おかし」を持って次世代層の組合員を訪問しています。この取り組みにより、若い組合員さんとの繋がりができ大変良かったと思います。加えて、統一行動日は昨年までにない人数と組数になっています。今年も対象者が昨年以上に少なく、苦労しますが、9月29日までの拡大到達は、全分会が50

峯村組織部長

パーセントの節目目標を突破しています。今年の秋の拡大月間の特徴はやはり組織内事業所からの加入が圧倒的です。次いで土建国保加入、一人親方労災加入を理由とした拡大となっています。10月の統一行動は共済推進や未加入対象者などをあたり切り、多くの組合員の協力で、全分会が目標を達成し、10月30日の打上式を迎えましょう。



昼食交流会であいさつをする丸山支部長

談をし、全分会より若手参加者からの決意表明と青年部、主婦の会、壮年会からの決意表明がされ、昼食交流会は終了しました。続いてバスは旧軽井沢銀座に到着し、2時間の散策となりました。コロナやソフトクリームを食べるなど散策し、15時30分にバスは帰路に着きました。日曜の夕方ということもあり、帰りは渋滞に巻き込まれ19時過ぎに散会となりました。

前進

9月に入ってもまだまだ暑い日が続いてる。この様なことは今まであまりなかった▼1月初めの石川県の能登半島地震から始まり、毎月のように洪水や地震とかが何処かで起こっている感がある。我が生まれ故郷の東北、山形県でも7月25日の豪雨であちこちの市や町・村で甚大な被害が起こってしまった。今でも在来線は停まったままで、何時復旧するか分らない状況である▼台風10号は日本列島を直撃し、大雨による土砂崩れや突風などでの被害が出た。新幹線や飛行機は運休し、全国で死者が1000人を超えている▼「線状降水帯」昔は聞かない言葉だったのがこの頃は頻繁に出てくるようになった▼2019年スウェーデンのグレタ・トゥーンベリさんと言う15歳の少女が地球温暖化に抗議活動してから急に世界で話し合う様になったが、発展途上国と先進国とでは今でも温度差がある▼今や世界中で地球温暖化の影響が起きている。真剣に対策を世界でやらなければ地球は滅びてしまうのではないだろうか。戦争なんかやっつる場合ではない。

学んだことを活かす

支部労働学校

2024年度の労働学校が6月24日の第1課から、8月29日の第6課で終了しました。哲学・経済学に昨年好評だった川添英雄先生（地区労働相談員）に講師をお願いし、第5課の労働運動に丸山支部長、第6課の埼玉建の歴史に田澤壮葉会会長にお願いしました。

哲学・経済学を行ってもらった川添先生の講義は先生の実体験なども交え、非常に面白く、あっという間に時間が過ぎていきました。そのなかで「核抑止論」が絶対だと思っていたアメリカの留学生が、広島を訪問して「核抑止論」をやめ、自分の国のアメリカにも「核兵器禁止条約」に署名するよう、反核兵器派の議員や州政府に投票することでも最善を尽くすと言って帰国していった話しが非常に心に残りました。実際に現地に行つて、見て、体験することは重要だと語っていました。また、第2課と第4課の終わりの際に三線を披露して頂き、参加者みんなで合唱しました。第5課の丸山支部長、第6課の田澤壮葉会会長も数年にわたって講師を行つて頂いて、解りやすい講演でした。

今年度の卒業者は19人（4回以上参加で卒業）で皆勤賞が10人でした。卒業イベントとして昨年に引き続き、9月24日に新座にある「島田屋」で食事をしました。

井口書記から今年度の労働学校の参加状況や開催状況の報告のあと、藤原学習委員長より「全6回の労働学校お疲れ様でした。とても楽しく学べたと思います。学んだなから1つでも2つでも実生活に活かせるようにしていきたいでしょう。卒業はしましたが、お仕事の関係で参加できない仲間が2人いますが、本日は16人の仲間が参加しています。楽しいひと時を過ごしましょう」とあいさつ、乾杯の音頭があり、歓談となりました。美味しいなぎとお酒で楽しい時間を過ごし、現在の分会での苦労話や次年度の労働学校についての討議で盛り上がりました。

亀山教宣部長から、機関紙の新年号の企画説明と本日の参加者の方にご協力をお願いして終了となりました。



7月22日に開催された労働学校の様子＝朝志和支部事務所にて

初参加の青年部員も 次世代対策部・青年部暑気払い

9月7日（土）に次世代対策部と青年部合同の部会兼暑気払いを朝霞台の「碧い夢」で行ない10人（次世代部5人・青年部2人・支部役員3人）が参加しました。

当日は、湿度が高く、ビール日和でしたが、お店の都合で店の外で15分ぐらい待たせられるハプニングもあり喉がカラカラの状態です。



10人で開催した暑気払い＝碧い夢にて

西次世代部長の乾杯のあと全員が勢いよく飲み干しおかわりの連呼。飲みながら青年部キャラバンの話や次世代訪問などの打ち合わせをしました。落ち着いたところで初めて参加した青年部員へ自己紹介をしたり、初参加の青年部員へ、「埼玉建へどうして加入したのか？」など、組合のことや資格のこと、組合のことも話しました。

盛上がりしました。気づけば、食事も全部でたのかわからなく、あっという間に2時間以上が過ぎました。最後に峯村支部組織部長にまとめてもらい一次会が終了となりました。その後、全員が飲み足りないとのことでした。「居酒屋、さんちゃん」へ場所を移動し、2次会でさらに交流を深めました。



参加者全員が2次会へ移動し

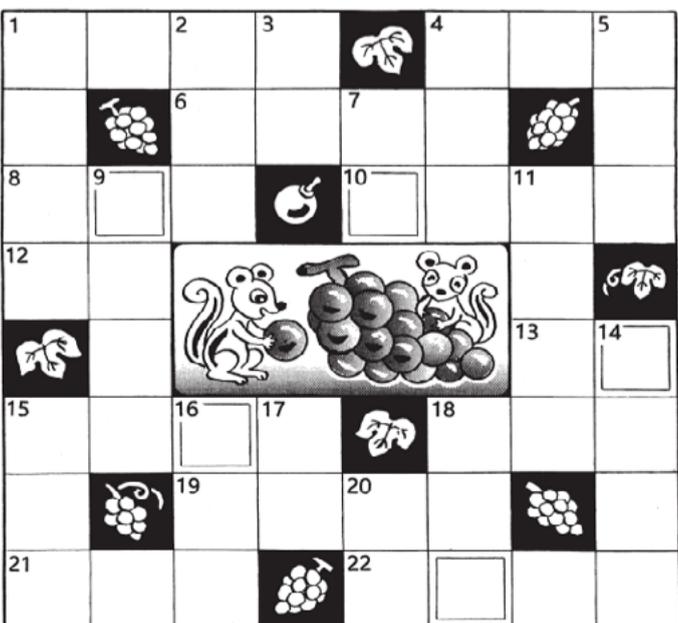


卒業イベントの様子＝島田屋にて

くわすくわすクイズ

正解者には抽選で5名に図書カードを進呈
宛先：支部教宣部あて締切：二五日消印

- ①「竜胆」って読めます
- ②「丹前」とも呼ばれる綿を入れた防寒用の着物
- ③：声。：毛。：湯
- ④レコード。世界新：古めかしいようす
- ⑤イガに包まれています
- ⑥アマゾン川が流れる南アメリカの国
- ⑦：道。：千家。：声
- ⑧アダムのリンゴ、：仏教の戒め
- ⑨能楽や狂言のものと似た鎌倉時代の芸能
- ⑩秋の味覚です
- ⑪：窓。くもり
- ⑫勝負で打ち倒すこと
- ⑬牛にあつて馬にないもの
- ⑭ネズミの形をしたコンピュータの入力装置
- ⑮頭のてっぺん



当選者は、発送を持って代えさせていただきます。